



メタコプリーツネット® きゃたぴら網戸タンデム Metaco Pleat Net Caterpillar Tandem

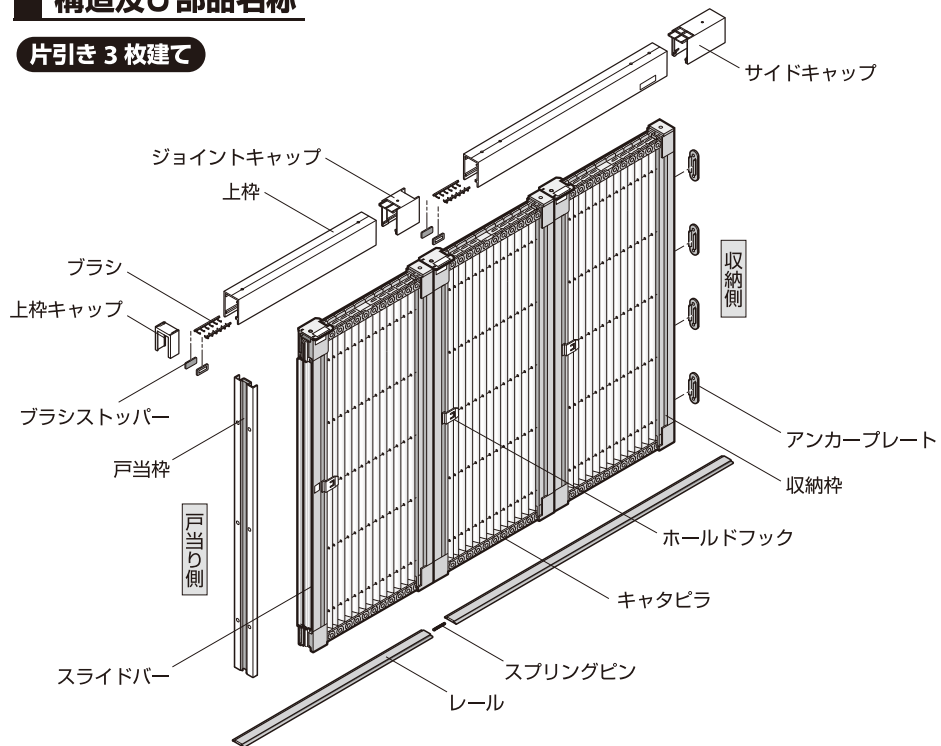
片引き ②③ 枚建て用

取付説明書

MTCT2J01

構造及び部品名称

片引き 3 枚建て



- この度はメタコ製品をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。
- この説明書では、取り付け方法に関する内容を記載しております。
取り付け時にはこの説明書を確認しながらお取り付けいただくようお願いいたします。
- この説明書のほかに、取扱いやメンテナンス方法を記載した取扱説明書があります。取付説明書とともに大切に保存してください。

METACO Inc.

株式会社 メタコ

〒106-0032 東京都港区六本木 7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木 203
TEL : 03-3403-9571 FAX03-3403-6498



<https://www.metaco.tokyo/>

©METACO Inc.

安全にお使いいただくために

この説明書はお客様に安心して製品をお使いいただき、人身への被害と財産への損害を未然に防ぐため、以下のように表示し、説明しています。

■ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の記号で説明しています。

- 警告** この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される危害の程度を示します。
- 注意** この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者などが傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

■ この説明書に使われている図記号の意味は、次の通りです。



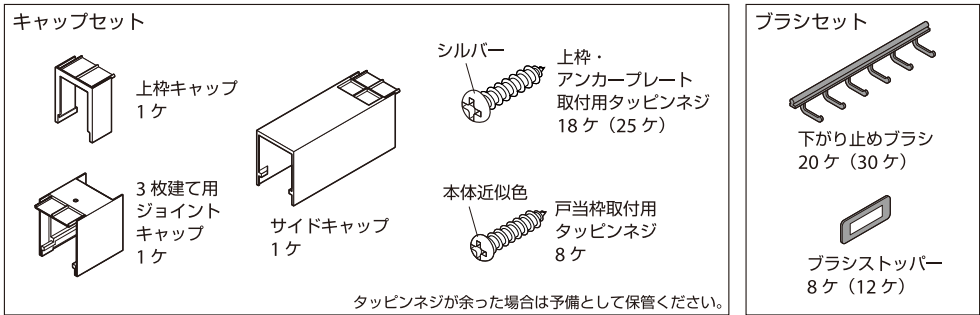
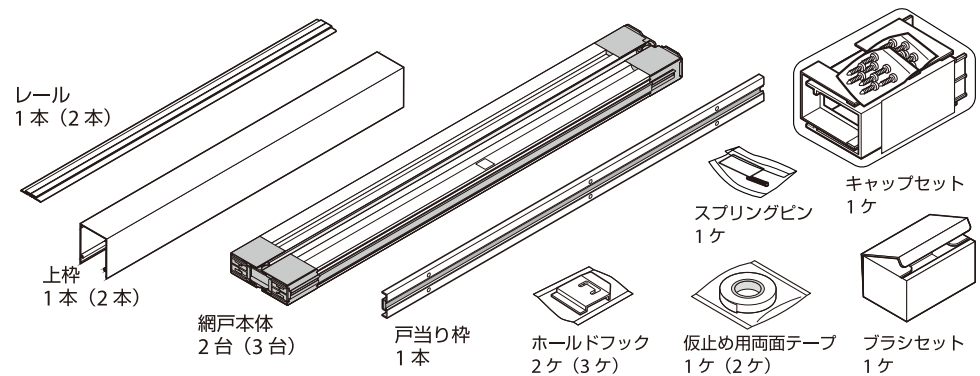
「してはいけない」を示します。



「必ずおこなっていただくこと」を示します。

梱包内容の確認

網戸の取り付けの前に同梱品の確認を行ってください。



※ () 内の数量は 3 枚建ての場合の数量

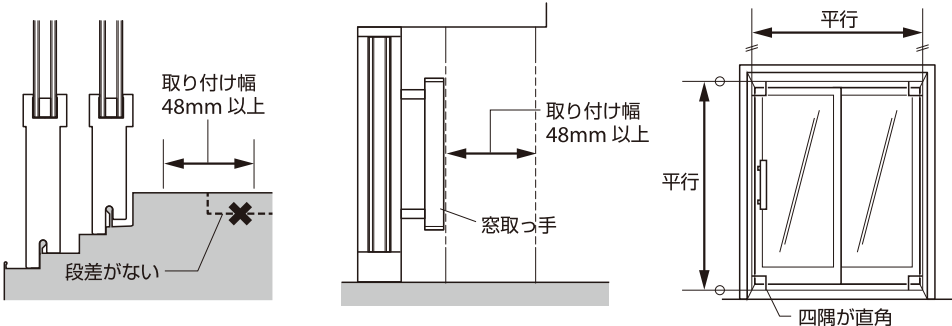
取り付け方法

1 取り付けの前に

■取り付け位置の再確認

製品取り付けのため、取り付け場所の寸法を再度確認し、以下の項目を確認してください。

- ①取付枠及び床に段差がなく、幅48mm以上の取り付け幅がある場所。
- ②取り付けた製品に取っ手などの障害物が干渉しないこと。
- ③開口部の向かい合う辺がそれぞれ平行で四隅が直角であること。



■取り付け部の清掃

製品を正確に取り付けるために、取り付ける場所、及び床に付着してる油汚れ・ほこり・水・砂・泥をよく落し、乾いた布で拭きとってください。

- 注意** **！** **取り付け作業時には手袋をする**
アルミ材の角などで手を切るなど、けがのおそれがあります。

2 上枠の取り付け

①上枠の両側の溝に下がり止めブラシを挿入します。

2枚建ての場合： 10個ずつ挿入します。

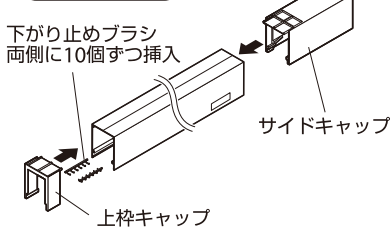
3枚建ての場合： 短い上枠に5個、長い上枠に10個ずつ挿入します。

②上枠にキャップをはめます。

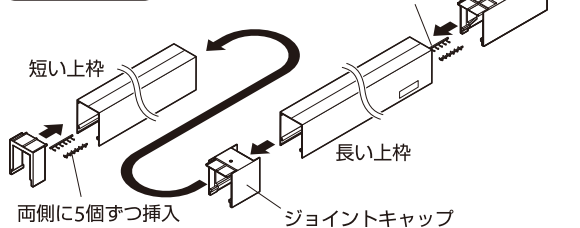
2枚立ての場合： 上枠キャップとサイドキャップをはめます。

3枚立ての場合： 上枠の両端に上枠キャップとサイドキャップをはめ、上枠と上枠をジョイントキャップで接続します。

片引き 2 枚建て



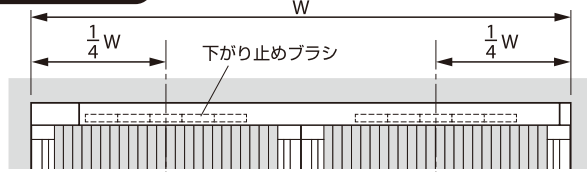
片引き 3 枚建て



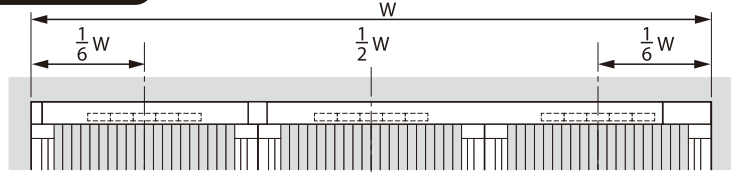
③下がり止めブラシの位置を本体1枚の中央の位置になるように調整します。

片側5個一組で本体1枚の中央になるように調整してください。下がり止めブラシの取り付け位置は以下の図のように計算してください。

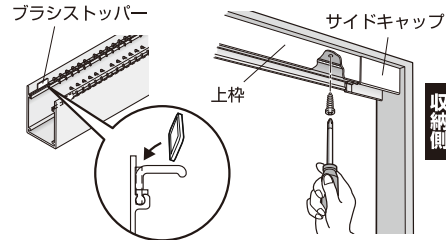
片引き 2 建て



片引き 3 枚建て

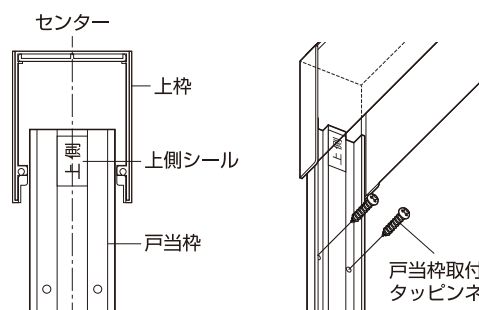


- ④ブラシストッパー各組の両端にブラシストッパーを貼り付け、下がり止めブラシを固定します。
- ⑤上枠に仮止めテープを貼り、取り付け位置に貼り付けます。サイドキャップのついている方が製品の収納側になります。
- ⑥上枠とサイドキャップ・ジョイントキャップを上枠取付用タッピンネジで固定します。このとき上枠が変形するまでタッピンネジを締めないでください。



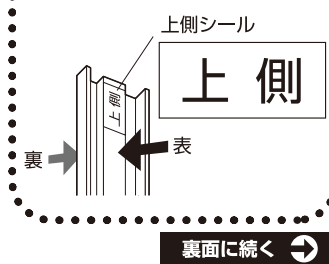
3 戸当り枠の取り付け

- ①戸当り枠の下側が床面と当たるように置き、上枠と戸当り枠のセンターを合せタッピンネジで固定します。
- ②取り付け後、まっすぐ取り付けであることを確認してください。



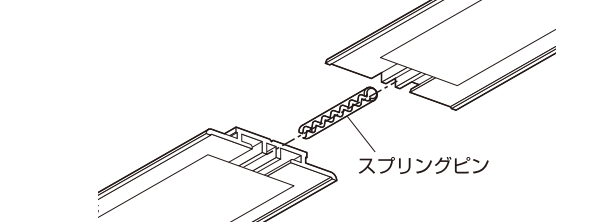
POINT

- 戸当り枠の上下は上側シールで確認できます。
- また、上側シールが貼ってあるほうが表側です。



4 レールの取り付け

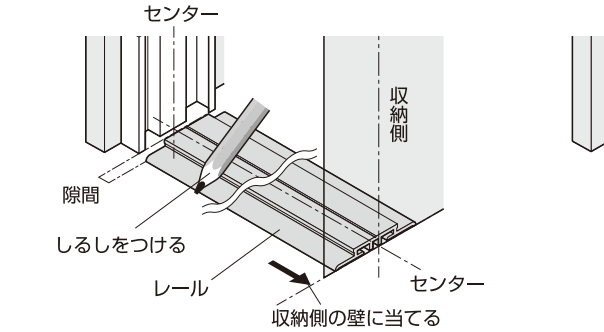
- ①上枠とレールのセンターラインが一致するように取り付けます。センターラインがずれると開閉に支障をきたしますのでまっすぐ取り付けてください。
- ②3枚建ての場合はスプリングピンを使用してレール同士をつなぎます。
レール同士がつながる部分にスプリングピン1本を差し込み、もう片方のレールをつなぎます。



- ③レールを取り付け位置に当て、しるしをつけます。

レールを収納側に寄せ、①のセンターラインと揃うように取り付け位置に当てます。このとき、戸当り側には隙間があきます。

- ④レールの両面テープの剥離紙を剥がし、しるしに沿って床に強く押し付けて接着させます。



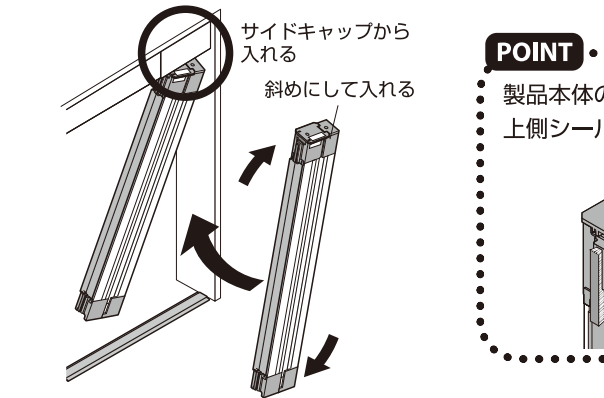
■ボトムレールをネジで取り付ける場合

床面に両面テープで強く接着できない場合は、皿ネジで固定します。ボトムレールにはネジで固定するためのミゾが刻まれています。下穴をあけて固定します。
※この場合の取付用ネジは同梱されておりません。

5-A アンカープレートの取り付け

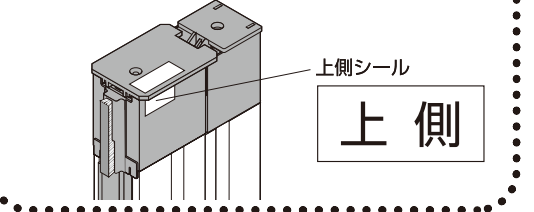
※アンカープレートをテープで仮止めできない場合は「**5-B 仮止めできない場合**」を参照してください。

- ①収納枠裏側に組み付けてあるアンカープレートの位置を、右図のように両端はアルミ材の端から200mmの位置、残りは等間隔の位置に移動します。
- ②アンカープレートの両面テープの剥離紙をはがします。
- ③製品本体を斜めにしてサイドキャップから上枠とレールの間に入れます。

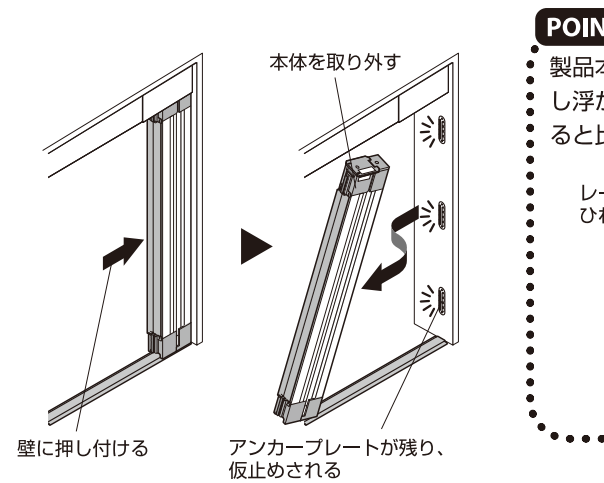


POINT

製品本体の上下は上側シールで確認できます。上側シールはスライドバーに貼付されています。



- ④製品本体の下側をレールに接触させながら両面テープ接着面を取付枠側に強く押し付け接着させます。
- ⑤製品本体を取り外します。取り外すとアンカープレートが壁に残り仮止めされた状態になります。



POINT

製品本体は収納枠をつかみ、レールから少し浮かせるようにしてひねるようにつ引っ張ると比較的容易に外すことができます。



- ⑥壁に残ったアンカープレートをタッピンネジで固定します。
ネジを強く締め過ぎるとアンカープレートが破損しますのでご注意ください。

5-B アンカープレートの取り付け（仮止めできない場合）

壁がクロス貼りなどでアンカープレートの仮止めができない場合はこちらを参照してください。

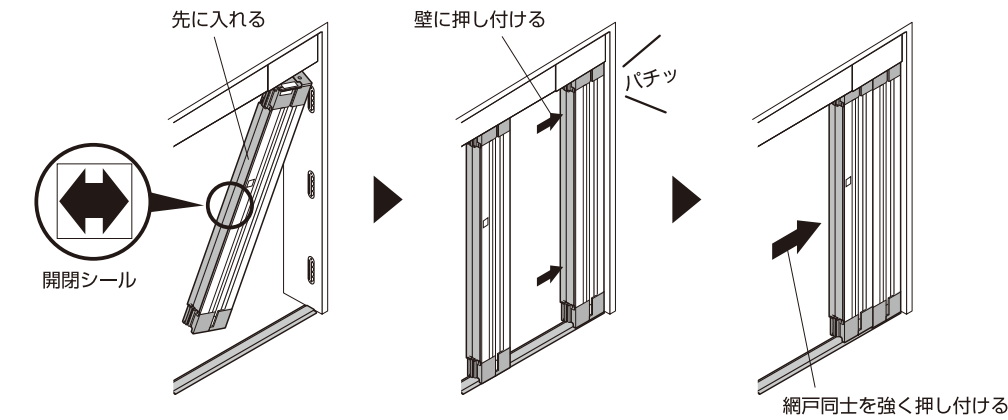
- ①収納側に上枠とレールのセンターを結んだ線を引きます。
- ②①で引いた線上にアンカープレートの取り付け位置の印をつけます。
一番上と下は各々上枠とレールから200mm離れた位置に印をつけます。残りのアンカープレートはその間の等間隔の位置に印をつけます。

- ③アンカープレートを製品本体から外します。マイナスドライバーなどで下から押し上げるようにすると簡単に外れます。
- ④アンカープレートの剥離紙をはがし、印をつけた位置にアンカープレートを仮止めします。仮止めたアンカープレートをタッピンネジで固定します。



6 製品本体の取り付け

- ①製品本体を開閉シールの貼ってあるものからサイドキャップから上枠とレールの間に入れます。
- ②収納側の本体をレールから浮かないように注意しながらアンカープレートの突起に合わせ「パチッ」と音がするまで押し付けるとはまって固定されます。
- ③本体同士を強く押し付けて連結させます。



POINT

- 連結したら連結部分がしっかりはまっていることを部屋の内側と外側から確認してください。
- 連結は図のように収納枠とタンデムプレートで連結される構造となっています。

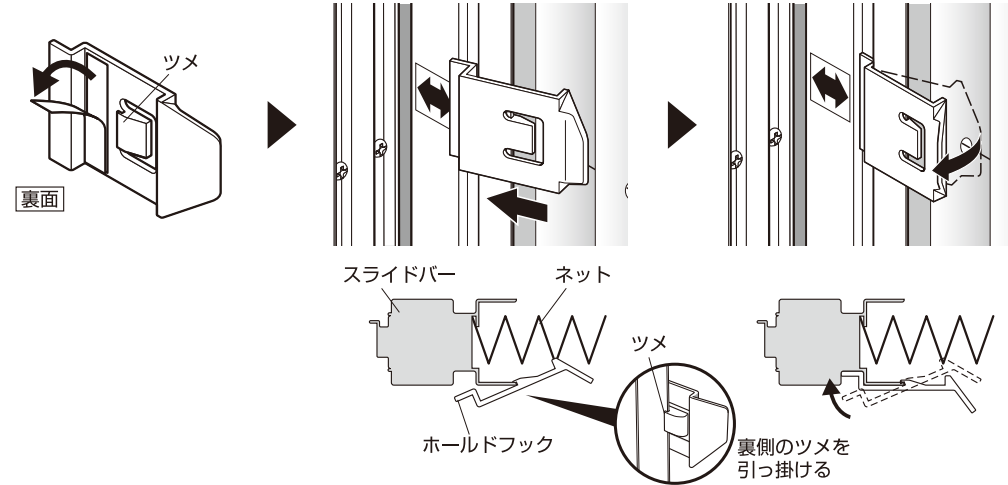


●お願い

取り付け後、収納枠を引き、本体が簡単に外れないことを確認してください。

7 ホールドフックの取り付け

- ①ホールドフックの裏側についている両面テープの剥離紙をはがします。
- ②ホールドフックの裏面にあるツメをスライドバーに引っ掛け、手前に引くようにして両面テープを貼り付けます。室内側の操作しやすい位置に貼り付けてください。



8 取り付け終了と点検

取り付けは終了しました。下記の項目について点検を行ってください。

- ①製品を数回開閉し、操作性に異常がないか確認します。
- ②上枠、レールの取り付けに不具合がないか確認します。
- ③型材にキズ、曲り、ゆがみがないか確認します。
- ④アンカープレート、収納枠が各々固定されていることを確認してください。
- ⑤スライドバーと戸当枠に隙間がないことを確認してください。

⚠ 注意



間違った取り付けや故障したまま使用しない

製品が外れて落下したり、転落事故などにつながるおそれがあります。ネジのゆるみや故障がないかをご確認ください。